

風力発電の歴史

中近東の垂直軸型式が起源、ヨーロッパ諸国では広く普及している。

オランダでは19世紀頃に風車建設が盛んに行われた。

小型風力発電機のメーカー

日本ではまだ開発の途に就いた状況であるが、世界では20数社が製造している。最近は抗力利用から揚力利用の高速風車へ移行している。

小型風力発電機とは

風車の直径が16m以下（受風面積が200m²以下）で出力規模が20Kw未満のものをいう。

小型風車の特徴

分散型電源として地産地消の街づくりに適している。

蓄電池との組み合わせにより非常時に利用できる。

局所風況マップ

[5kmメッシュ/高度30m](#)